

学校番号	38	学校名	清水南高等学校・同中部	記載者	榊原 勝
------	----	-----	-------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	中高一貫教育校にふさわしい教育課程の検討、授業改善及び学習指導の充実を図る。	「授業がわかる」と答える生徒の割合：中部80%、高校80%	A	A	「わかる」を優先しすぎると、レベルが下がるリスクがあるので、高い基準での評価を保ちたい。 教科によっても差が出るので、教科ごとに実施したらどうか。
		週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合：中部80%、高校80%	B	B	家庭の事情、問題も関係するので、学校の努力だけでは改善が難しいのではないかと。高校の目標を70%～75%に設定しても良いのではないかと。取り組む生徒と、そうでない生徒との追跡調査を実施するのもよい。
イ	こころざしを育むための進路指導の充実を図る。	四年制大学への実合格者の割合：普通科 90%以上 国公立大学への実合格者の割合：普通科 40%以上 音楽大学、美術大学への実合格者の割合：芸術科 80%以上	B	B	生徒の進路実現ができていればよい。 芸術科の進路先は、大学以外は分母に含めないほうが良い。教員の評価につながるように、音大美大を受験した生徒から割合を示したほうが良い。
ウ	中高が連携し、効果的な生徒指導を推進する。	年間の交通事故件数：中高ともに前年度比半減	B	A	事故の程度にもよるので単純な件数だけの比較は難しい。目標を次年度も半減にすると達成が難しくなる。「重大事故の件数を減らす。」等の目標が良いのではないかと。
		「信頼できる先生がいる」と答える生徒の割合：中部70%、高校70%	B	B	相性があるので、全てに信頼されることは難しいが、厳しい先生でも信頼されるもの。生徒は先生を良く見ているので、初めの人間関係作りを、しっかり築いて信頼につなげたい。

様式第5号

		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合：中等部 80%、高校 80%	B	B	生徒の意見、相談を本気で答えてくれキャッチボールができる教員が何人いるかが、大事である。 安心して心を開けるように、関係を保ってほしい。
エ	学校行事、生徒会活動、部活動等の充実を図る。	部活動に一生懸命取り組む生徒の割合：中等部 80%、高校 70%	A	A	中高一貫指導と難しい問題も有るが、部活動をやり通すことに価値がある。学習にマイナスの影響が出ないように、時間効率のよい指導法を研究し、文武両立をめざしたい。
		「学校が楽しい」と答える生徒の割合：中等部 80%、高校 80%	B	B	「楽しい」の定義について生徒に突詰めさせたい。苦しくても努力し達成感を感じて、「楽しい」と思う者も多い(教師も考えたい)。中高生では感じ方は違う。
オ	開かれた学校づくり、安心・安全の学校づくりを推進する。	土曜オープンスクール参加者数：年間 1,500 人 ホームページアクセス：年間 300,000 件	A	A	地元からの受検者が増えるように広報を兼ねてオープンスクールの内容を一層工夫したい。毎日のホームページ更改は立派である。
		実践的な防災訓練実施：年間3回 地域防災訓練参加率：中等部 55%以上、高校 35%以上	A	A	地域の防災訓練参加率は高2を抜いた分母で割合を出してほしい。抜き打ち等の訓練は効果的である。